

# ワークショップ 「こんな〇〇欲しかったん！」

2009年8月12日（水） 13：00-17：00

2009.8.12



南大阪地域大学コンソーシアム  
キャリア教育コーディネータ 黒木 淳



## 南コンソモデルのキャリア教育

PDCAサイクルに重点化した**思考リテラシー**を中心にした課題解決型プログラム

「人間が社会で生きる基礎的な力」を身につける学習

★「**思考**」を「**スキル**」として捉え、思考の作法が**習慣化**することをめざした教育プログラム

**思考リテラシー＝PDCAサイクルを思考として構造化**したもの

Plan- Do- Check- Action

企業課題

「見て」

「掘り下げて」

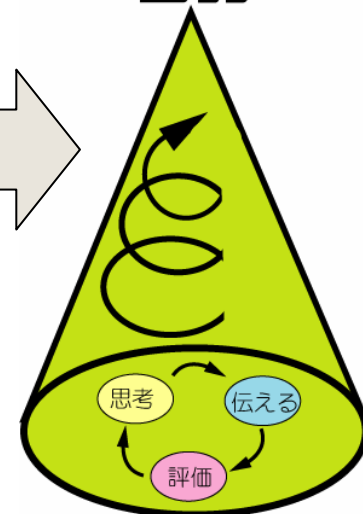
「解決して」

「提案して」

「行動する」

企画提案

目的



思考リテラシー

# 目標から導き出したプログラム

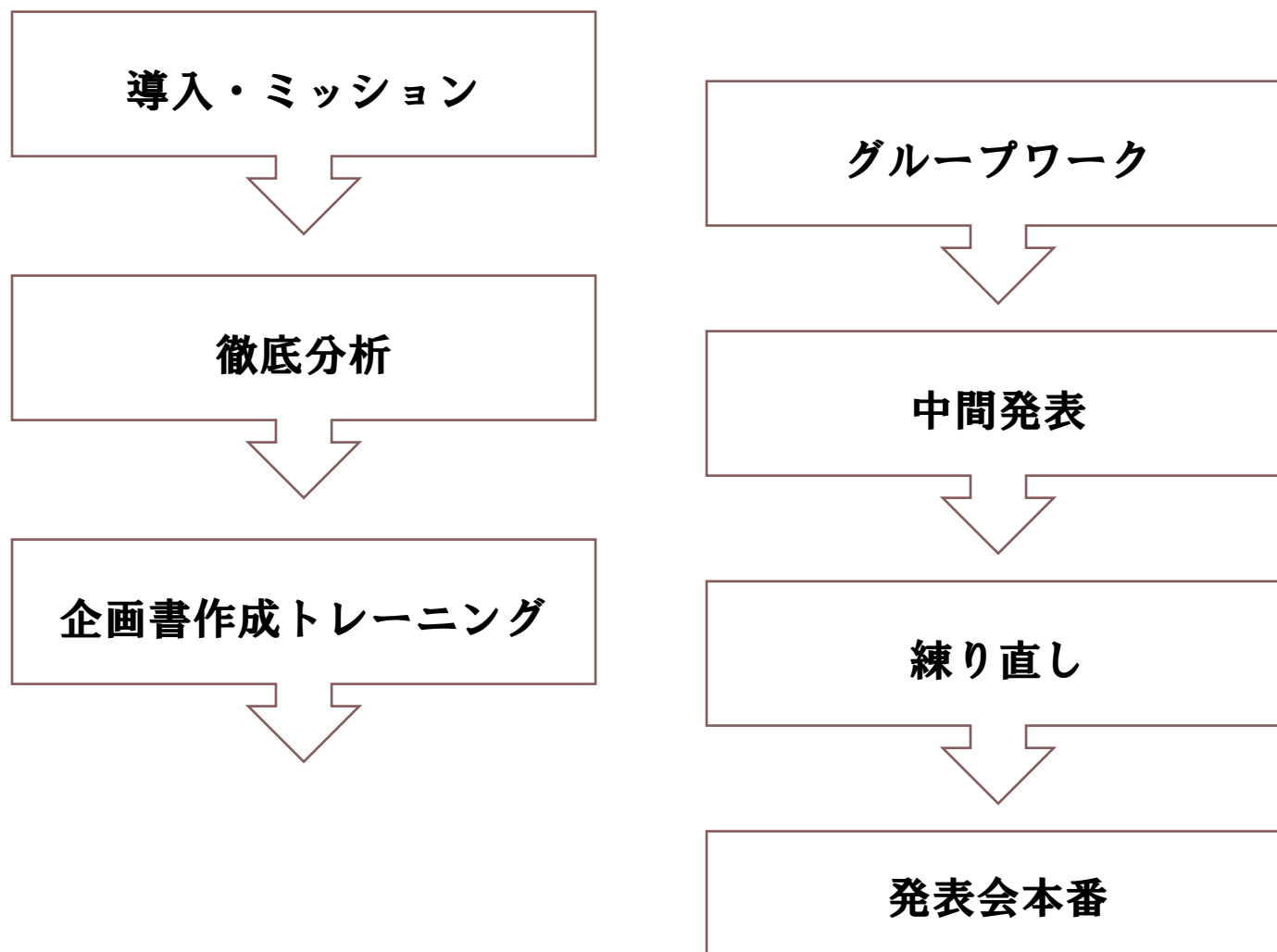
## ＜プログラムの特徴＞

- およそ20時間のプログラム
- 学校とコーディネータ、学生、企業による授業設計
- 専門家（エキスパート）によるミッション
- 徹底的に考えて企画立案する
- 企画立案を通して思考の使い方を学ぶ
- 物事を良くするためには一度失敗することが大切であることを学ぶ

# ワークショップ

20時間のプログラムを、  
1時間半で体験！

# キャリア教育プログラム体験





# ミッションの意味

## ★社会的視点が重要！

モノはモノだけで存在しているのではない

人との関わり

期待、満足、生活の変化

社会との関わり

環境の変化

事業は人、社会、地球に優しい！

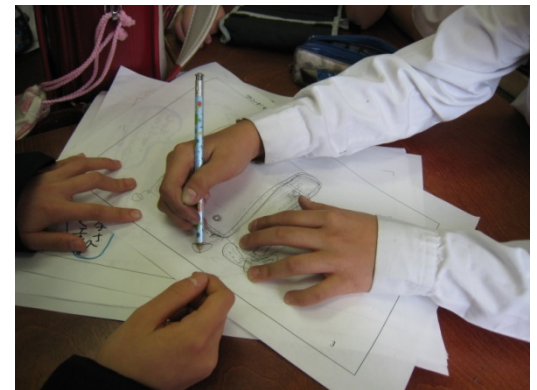
# グループ活動！

## チーム力を最大限に生かす！

- 三人あつまれば文殊の知恵
- 役割分担  
リーダー、企画、情報収集、プレゼン、資料作成、スケジュール管理など
- 役割を責任をもって担う



# 社会実践の縮図



# 徹底分析

## 学校分析シート

地域から考え  
ると・・・

社会から考え  
ると・・・

伝統から考え  
ると・・・

教科から考え  
ると・・・

子どもから考  
えると・・・

健康から考  
えると・・・

スポーツから考  
えると・・・

★学校について徹底分析をしましょう！

学校名

名前

学校ってどんなもの？



私たちは・・・

から考える！

学校のライバル

まちや社会への影響

学校の良い点



学校の不利な点



先生から考え  
ると・・・

学力から考え  
ると・・・



# 徹底分析のポイント

「見る」と「知ってる」  
とは  
大違い！

# 切り口の設定

## 条件設定

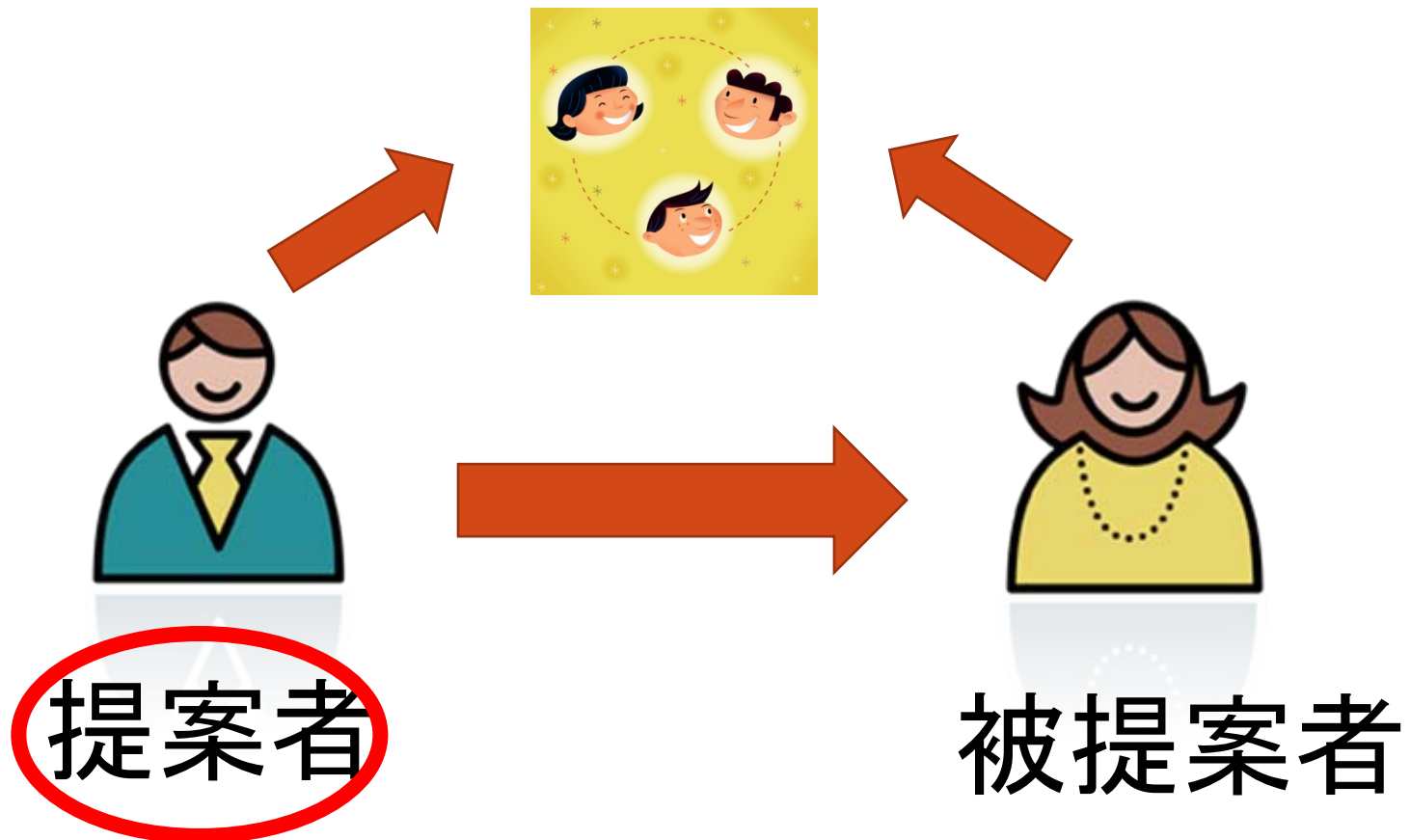
- 切り口とは、提案の方向性のこと
- チームでどんな方向の企画を作りますか??  
→ 答えが切り口になります。
- チーム全員が納得する切り口を設定

## ヒント

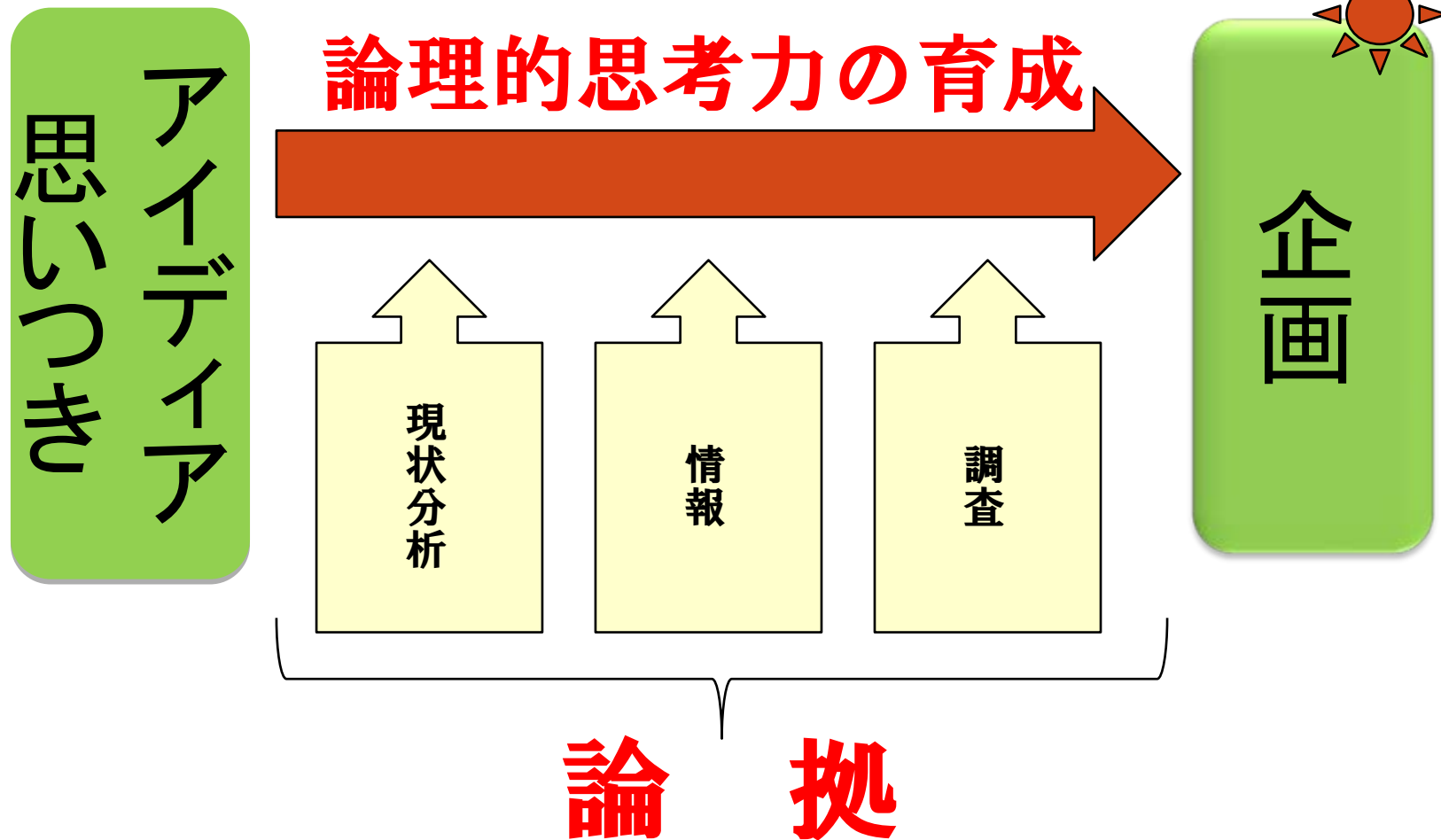
絞ったテーマの方が取組やすい

# 相手という言葉について

プレゼンには2人の相手がある



# 納得という言葉について



企画シートーこんな洋服のリフォームがほしかったー

|         |  |
|---------|--|
| 学年 学籍番号 |  |
| チーム名    |  |
| テーマ&切り口 |  |



2. 影響・結果：その洋服リフォーム業がないためにどんな困っていること屋敷しくないことがありますか？..

影響

5. ねらい：その洋服リフォーム業があると、だれに一番喜んでもらえますか？

ターゲット

1. 問題：こんな洋服のリフォーム業がなく困ってる！面白くない！..

機軸

課題

4. 要望：こんな洋服リフォーム業がほしい！（具体的に）..

整合性

提案

3. 開放：こんなことが短きるんだらう？..

原因

6. 解決策・工夫：この洋服リフォーム業を考えるために何をヒト？（参考にした情報）..

整合性

工夫

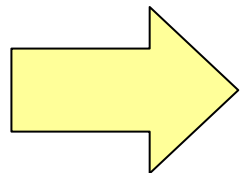
7. 成果：その洋服リフォーム業ができたことで良くなることは何？..

効果

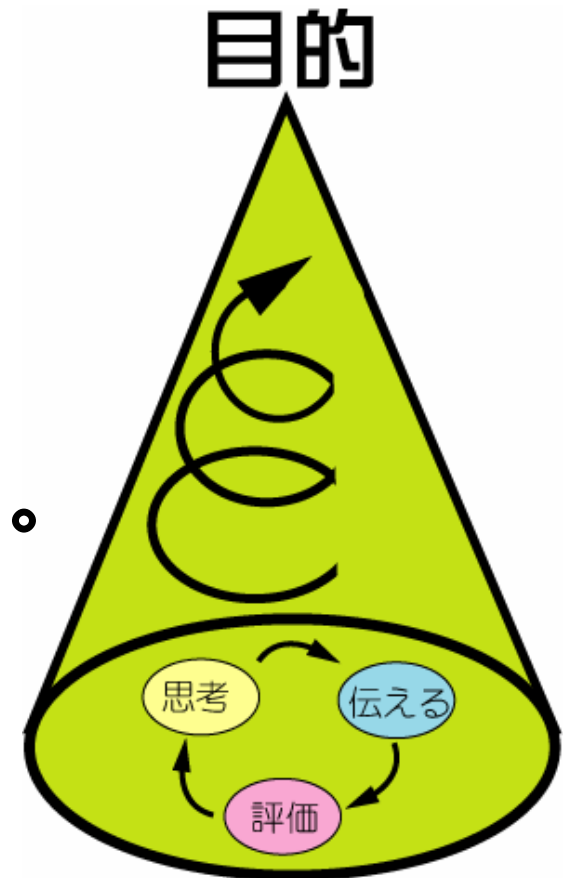
整合性

# 中間発表のポイント

- ・ 今まで思考してきたものを伝え、評価を得る。
- ・ 良いものを創るために一度壊すことの重要性を知る。



徹底的に壊す！





## 指導ポイント⑦

- 徹底して**考え抜く**！
- 考え抜いたことを**伝えきる**！
- ◆それらを**習慣化**する！

# プレゼンテーション・シート

～この用紙を使って、聞いている人に分かりやすいプレゼンテーションを目指そう～

チーム名

今から

が学校づくり企画の説明を始めます。

商品名

この商品名は

と言い、

キャッチコピー

この商品のキャッチコピーは

です。

まず、この商品を考えて理由を説明します。それは、  
困っている人

ターゲット

が、

問題点

課題

で困っているからです。  
で楽しくないからです。  
で不便だからです。

なぜ、こういったことに注目したのかと言うと、

この問題点に注目した理由

影響

と、考えたからです。  
思ったからです。

そしてこの問題の原因は  
問題点の原因

原因

ではないかと思いました。

それらを元にして、商品を考えてところ、

1人1人が考えた商品の特徴(あるだけ書こう)

や、

、

という意見が出ました。

それからまとめて出来た商品が、  
商品名

**提案**

です。

この商品には 商品の工夫した部分(考えた分全部)

① **工夫1**

② **工夫2**

③ **工夫3**

に工夫があります。

1つずつ説明すると、

それぞれの工夫をさらに詳しく説明

① **工夫1**

には

という工夫、

② **工夫2**

には

という工夫、

③ **工夫3**

には

という工夫、

④

には

という工夫がして  
あります。

この商品があれば、  
喜ぶ人

**ターゲット**

が

商品のおかげで、できるようになること

**効果**

で喜びます。

これで商品の説明を終わります。

# プレゼンシート（PowerPointファイル）

**提案**

キャッチコピー

**（ターゲット）**

チーム名：

1

不便です！ 困ってます！  
楽しくないです！

**課題**

これに注目した理由は…

**影響**

この問題点の原因は…

**原因**

提案内容

**提案**

3

セールスポイント

**工夫**

4

この自転車があればこんな良い事が！  
（どんな人が喜ぶのかな？）

**成果**

5